

○令和2年度財務諸表等に関する質疑事項

資料2-2

頁	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答
1	庄司委員	昨年度と比較して医薬品及び診療材料が増加している理由(昨年度480,574千円、今年度609,220千円、128,646千円増加)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症対策用の医療用ガウン、マスク、フェイスシールド等を含む診療材料の在庫が増加(142,665千円)したことが主な要因です。
1	庄司委員	昨年度と比較して未収入金が増加している理由(昨年度516,834千円、今年度2,139,149千円、1,622,315千円増加)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症関連補助金及び施設整備費補助金の未収分(4月以降入金予定分)が昨年度と比較して増加(1,626,491千円)していることが主な要因です。
2	庄司委員	昨年度と比較して資産見返負債が増加している理由(昨年度2,632,128千円、今年度3,135,240千円、503,112千円増加)。	経営企画課	運営費交付金や寄附金、補助金等を財源として取得した全身用X線CT診断装置等の固定資産の額(850,064千円)が減価償却費等の額(▲346,951千円)を上回ったことによるものです。 また、今年度は特に新型コロナウイルス感染症関連の補助金を財源として医療機器等の購入(571,325千円)を行っております。
2	庄司委員	昨年度と比較して長期未払金が増加している理由(昨年度2,815,911千円、今年度1,993,094千円、822,817千円減少)。	経営企画課	新規リース契約による増加額(95,643千円)に対し、債務支払による減少額(▲918,460千円)を上回ったことによるものです。
2	庄司委員	昨年度と比較して運営費交付金債務が増加している理由(昨年度47,280千円、今年度361,728千円、314,448千円増加)。	経営企画課	共済費の負担金率の減額改定等により大学教員人件費の執行残が昨年度よりも増加したこと及び当初予算策定時と比較し、病院教職員の退職者数が減少した(予算:88名→実績:61名)ことにより退職手当の執行残が増加したため、運営費交付金債務が昨年度と比較して増加しております。 ※運営費交付金の精算対象となる大学教員の人件費及び退職手当の執行残は、例年、運営費交付金債務として流動負債に計上し、翌年度の運営費交付金と相殺しております。
2	庄司委員	昨年度と比較して預り補助金等が増加している理由(昨年度2,960千円、今年度57,267千円、54,307千円増加)。	経営企画課	令和2年度補助金「救急医療施設への緊急支援プログラム(交付元:(公財)日本財団、交付額:39,340千円)」を財源として購入事務を進めているドクターカーの納品時期が令和3年8~9月を予定していることから、当期末時点では預り補助金として計上し、令和3年度に預り補助金から資産見返補助金へ振り替える予定です。 また、「入院受入医療機関緊急支援事業補助金」において、交付決定額と実績額との差額分(11,727千円)については、新型コロナウイルス患者等の対応を行う医療従事者の時間外手当及び宿日直手当が見込みより減ったことによる執行残であり、当期末時点では預り補助金として計上し、令和3年度以降に交付元である国や北海道へ返還する予定です。
2	庄司委員	昨年度と比較して前受受託研究費等が増加している理由(昨年度228,077千円、今年度281,780千円、53,703千円増加)。	経営企画課	受託研究費の当期受入額332,065千円に対し、当期執行額278,362千円が下回ったことによるものです。 ※前受受託研究費とは、受託研究費を受け入れた際に計上される負債であり、研究活動の進行に伴う研究費の執行に応じて収益に振り替えます。
2	庄司委員	昨年度と比較して前受共同研究費が減少している理由(昨年度76,179千円、今年度58,280千円、17,899千円減少)。	経営企画課	共同研究費の当期受入額62,657千円に対し、当期執行額80,555千円が上回ったことによるものです。 ※前受共同研究費とは、共同研究費を受け入れた際に計上される負債であり、研究活動の進行に伴う研究費の執行に応じて収益に振り替えます。
2	庄司委員	昨年度と比較して未払金が増加している理由(昨年度4,805,084千円、今年度5,780,495千円、975,411千円増加)。	経営企画課	令和3年3月に全身用X線CT診断装置(2台:245,080千円)やデジタルX線透視撮影システム(119,460千円)等の高額な工具器具備品が納品されたこと及び同じく令和3年3月に基礎医学研究棟連絡通路新築外工事(149,797千円)や附属病院屋上防水改修工事(51,343千円)等の工事が完了したこと等により、昨年度よりも4月末支払分が増加したため、未払金(4月以降支払予定分)が増加しています。 ※支払日については、本学規則において、原則月末締め翌月末払いと定められております。
2	庄司委員	昨年度と比較して預り金が増加している理由(昨年度89,297千円、今年度103,196千円、13,899千円増加)。	経営企画課	定年退職者数の増加に伴い退職手当に係る所得税等給与預り金が増加(6,285千円)したこと及び新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌医科大学後援会の助成事業が一部中止となったため、後援会預り金が増加(7,540千円)したことが主な要因です。
2	庄司委員	昨年度と比較して預り科学研究費補助金等が増加している理由(昨年度123,025千円、今年度160,855千円、37,830千円増加)。	経営企画課	科学研究費補助金の受入額が増加(17,784千円)したことが主な要因です。 (R2:382,726千円、R1:364,942千円)

頁	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答
3	庄司委員	昨年度と比較して受託研究等収益が増加している理由(昨年度256,173千円、今年度301,703千円、45,530千円増加)。	経営企画課	受託研究費の受入額の増加(63,126千円)に伴い、新規業務委託費等の費用執行額が増加(44,699千円)したことが主な要因です。 【受入額】R2:355,404千円、R1:292,278千円
3	庄司委員	昨年度と比較して共同研究収益が減少している理由(昨年度99,385千円、今年度80,555千円、18,830千円減少)。	経営企画課	共同研究費の受入額の減少(▲73,571千円)に伴い、消耗品費や業務委託費等の費用執行額が減少(▲19,088千円)したことが主な要因です。 【受入額】R2:62,657千円、R1:136,228千円
3	庄司委員	昨年度と比較して受託事業等収益が増加している理由(昨年度112,360千円、今年度218,340千円、105,980千円増加)。	経営企画課	新規受託事業(PCR受託検査料収入)による増加(110,158千円)が主な要因です。
3	庄司委員	昨年度と比較して補助金等収益が増加している理由(昨年度149,409千円、今年度3,928,368千円、3,778,959千円増加)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症関連補助金(3,789,334千円)が新規事業として採択されたことが主な要因です。
3	庄司委員	昨年度と比較して寄附金収益が減少している理由(昨年度667,333千円、今年度578,822千円、88,511千円減少)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症対策として道内外への出張が制限されたことにより、旅費等執行額が減少(▲84,922千円)したことが主な要因です。 ※寄附金も受託研究等と同様、業務活動の進行に伴う費用の発生に応じて収益に振り替えます。
3	庄司委員	昨年度と比較して資産見返負債戻入が増加している理由(昨年度284,883千円、今年度327,893千円、43,010千円増加)。	経営企画課	教授の退官や施設移転に伴い、資産資料(図書・製本)の見直しを行ったため、図書の除籍処理に伴う資産見返物品受贈額戻入が増加(25,182千円)したことや、運営費交付金や寄附金、補助金等を財源として取得した固定資産の減価償却費が増加(22,417千円)したことが主な要因です。
3	庄司委員	昨年度と比較してその他の雑益が増加している理由(昨年度125,008千円、今年度222,999千円、97,991千円増加)。	経営企画課	特許料収入(第一三共)が増加(88,000千円)したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち教育経費の消耗品費が増加している理由(昨年度22,432千円、今年度64,447千円、42,015千円増加)。	経営企画課	オンライン授業に対応するため、教育補助端末等の購入(27,674千円)を行ったことが主な要因です。その他、新型コロナウイルス感染症対策として、アクリルパーティションやフェイスシールド等の購入を行ったことも要因となっています。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち教育経費の備品費が増加している理由(昨年度10,540千円、今年度28,698千円、18,158千円増加)。	経営企画課	消耗品費と同様にオンライン授業に対応するため、ノートPCや端末機器の保管庫を購入(10,022千円)したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち教育経費の旅費交通費が減少している理由(昨年度16,832千円、今年度3,466千円、13,366千円減少)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症の影響により、学会等がWEB開催となったことや、緊急事態宣言下においては、対象地域への移動を原則禁止としていたことにより、出張が減少したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち研究経費の水道光熱費が減少している理由(昨年度111,202千円、今年度98,255千円、12,947千円減少)。	経営企画課	電気基本料金の減少により、電気料金が減少(16,003千円)したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち研究経費の旅費交通費が減少している理由(昨年度104,797千円、今年度4,678千円、100,119千円減少)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症の影響により、学会等がWEB開催となったことや、緊急事態宣言下においては、対象地域への移動を原則禁止としていたことにより、出張が減少したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち研究経費の報酬・委託・手数料が増加している理由(昨年度364,017千円、今年度405,841千円、41,824千円増加)。	経営企画課	臨床研究におけるマイコプラズマ否定試験業務費の増加(21,040千円)や、研究施設における各種設備保守点検の増加(10,461千円)が主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち研究経費の減価償却費が減少している理由(昨年度198,734千円、今年度177,300千円、21,434千円減少)。	経営企画課	過年度に取得した償却負担の大きい固定資産の減価償却が、耐用年数の経過により終了したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の委託費の検査委託費が増加している理由(昨年度201,172千円、今年度223,258千円、22,086千円増加)。	経営企画課	遺伝子診療科の設置(H30.8～)や高額な遺伝子検査の保険適用により、遺伝学的検査委託費が増加(34,165千円)したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の委託費のその他委託費が増加している理由(昨年度479,421千円、今年度566,733千円、87,312千円増加)。	経営企画課	看護師の負担軽減及び滅菌器の老朽化のため、洗浄・滅菌業務を外委託したことにより委託費が増加(34,285千円)したこと、労務単価の上昇により、保育所運営業務費が増加(28,322千円)したこと、夜間看護加算取得に向けた看護補助者の増員により、派遣費用が増加(29,041千円)したことが主な要因です。
19	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の設備関係費の機器賃借料が増加している理由(昨年度253,610千円、今年度330,609千円、76,999千円増加)。	経営企画課	内視鏡センター拡大により、内視鏡システムVPPレンタル料(VPP:実症例数に応じて料金を支払う症例単価払い方式)が増加(60,093千円)したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の消耗品費が増加している理由(昨年度69,032千円、今年度154,027千円、84,995千円増加)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症に対応するため、マスクやガウン、手袋、フェイスガード等の消耗品を購入(67,586千円)したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の備品費が増加している理由(昨年度60,428千円、今年度103,511千円、43,083千円増加)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症に対応するため、輸液ポンプやシリンジポンプ、パーティション等を購入(16,626千円)したことや、院内環境改善のため病院1階にロビーチェア一式を整備(9,990千円)したことが主な要因です。

頁	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の水道光熱費が減少している理由(昨年度587,642千円、今年度511,077千円、76,565千円減少)。	経営企画課	ガス単価減(55.03円→48.02円)により、ガス料金が減少(38,805千円)したこと、電気基本料金減により電気料金が減少(28,739千円)したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の旅費交通費が減少している理由(昨年度74,994千円、今年度57,486千円、17,508千円減少)。	経営企画課	新型コロナウイルス感染症の影響により、学会等がWEB開催となったことや、緊急事態宣言下においては、対象地域への移動を原則禁止としていたことにより、出張が減少したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の報酬・委託・手数料が増加している理由(昨年度360,339千円、今年度445,308千円、84,969千円増加)。	経営企画課	北海道からの要請により、感染症医療チーム派遣事業として、本学から札幌市保健所や道設置の宿泊療養施設等へ派遣した医療従事者に対して支払われる謝金が増加(82,881千円)したことが主な要因です。 ※財源は補助金として措置されております。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち診療経費の経費の修繕費が増加している理由(昨年度2,953千円、今年度18,652千円、15,699千円増加)。	経営企画課	検査部検査室の改修に係る電気・機械設備の工事費(5,742千円)や病院既存棟改修Ⅱ期工事に伴う医療情報配線工事費(1,095千円)等、病院改修に係る修繕費が増加したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち教育研究支援経費の図書費が増加している理由(昨年度2,963千円、今年度29,349千円、26,656千円増加)。	経営企画課	教授の退官や施設移転に伴い、資産資料(図書・製本)の見直しを行ったため、除籍処理が増加したことが要因です。 ※図書の管理上、除却の処理が行われたときは、当該図書の取得価額相当額をもって図書費に計上します。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち受託研究費等が増加している理由(昨年度238,632千円、今年度283,331千円、44,699千円増加)。	経営企画課	新規業務委託契約(データマネジメント等臨床研究支援業務委託:47,898千円)の締結により、報酬・委託・手数料が増加したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち共同研究費が減少している理由(昨年度86,208千円、今年度67,120千円、19,088千円減少)。	経営企画課	共同研究費の受入額の減少に伴い、消耗品費の執行額が減少(▲16,564千円)したことや、R元年度に実施した業務委託契約(臨床研究支援業務委託費:8,357千円)が皆減となったことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち受託事業費が増加している理由(昨年度80,089千円、今年度99,379千円、19,290千円増加)。	経営企画課	受託事業収益を財源として取得した工具器具備品に係る減価償却費が昨年度よりも増加(12,672千円)したことが主な要因です。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち役員人件費の常勤役員給与の退職給付費用が増加している理由(昨年度-千円、今年度29,994千円、29,994千円増加)。	経営企画課	今年度定年退職を迎えた常勤役員(医学部長)1名分が皆増となっています。
20	庄司委員	昨年度と比較して業務費のうち職員人件費の常勤職員給与の退職給付費用が増加している理由(昨年度316,209千円、今年度379,957千円、63,748千円増加)。	経営企画課	常勤職員の退職者数は昨年度比で14名減(75名→61名)となりましたが、定年退職者数が4名増(8名→12名)となるなど、勤続年数の長い職員が多かったため、全体では増加となっています。
21	庄司委員	昨年度と比較して一般管理費のうち修繕費が減少している理由(昨年度18,420千円、今年度7,331千円、11,089千円減少)。	経営企画課	昨年度支出した空気浄化装置フィルター取替業務料(5,610千円)が今年度は発生しなかったことが主な要因です。(修繕の対象となる建物によって支出予算の科目が異なりますが、今年度は一般管理費からの支出分が減少しています。)